

2004 ROAD RACE RULES

付 **10** 則

ST250/400の仕様

公道用一般車両をベースに安全性、平等性、経済性を考慮し、最小限の改造とコストで参加できる、参加型レースを基本理念とする。

用語の定義：改造＝オリジナルパーツ（車両公認時に装着されたもの）に対し切削・追加・研磨を行う行為

変更＝オリジナルパーツ（車両公認時に装着されたもの）を他の部品に置き換える行為

1 出場車両

一般生産型モーターサイクルでMFJが公認した車両でなければならない。

2 排気量区分

ST250 2ストローク 126cc～250cc

ST400 4ストローク 251cc～400cc

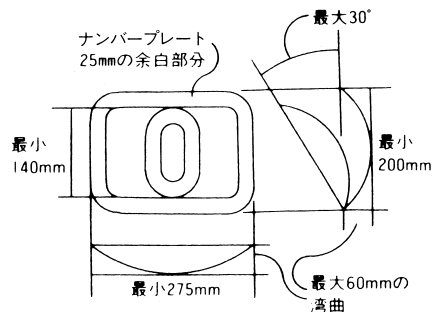
3 燃料／オイル

- 3-1 使用する燃料はMFJが規定する無鉛ガソリンで、当該サーキットから購入できるものを使用しなければならない。
- 3-2 オイルは一般に市販されているものから選択しなければならない。
- 3-3 上記以外の起爆剤・添加剤は使用してはならない。

4 ナンバープレートの取り付け

- 4-1 ナンバープレートは、フロントと両サイドの3枚を取り付けなければならない。
- 4-2 ナンバープレートの地色は白で、文字は黒色。
- 4-3 プレート・文字サイズ

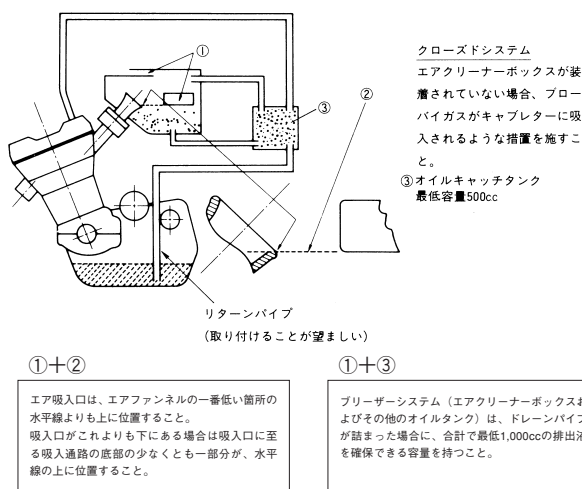
ナンバープレート



5 仕様

- 5-1 レースのために取り外さなければならない変更
- 5-1-1 ライト／ウインカー／リフレクター
- 5-1-2 バックミラー
- 5-1-3 ナンバープレートとブラケット
- 5-1-4 セーフティーバー／センタースタンド／サイドスタンド
- 5-1-5 同乗者用フットレスト／グラブレール
- 5-1-6 その他車検時に安全上取り外しを指示された部品
- 5-2 安全の確保のため、改造、変更が義務付けられる事項
- 5-2-1 アクセルは手で握っていないときは、自動的に閉じるようになっていること。
- 5-2-2 キルスイッチをハンドルを握ったまま操作できる位置に取り付けること。
- 5-2-3 エレクトリックフューエルポンプがついている車両は、転倒した時にポンプが自動的に停止するための回路遮断システムを備えていなければならない。
- 5-2-4 4ストローク車両はクローズドブリーザーシステムになっていなければならない。すなわち、オイルブリーザーラインはエアクリーナーボックスに連結され、これに排出する構造となっていること。エアクリーナーボックスの下部に排出穴があいている場合は、オイルを受けられるように塞がなければならない。

4ストロークエンジンのブリーザーシステム

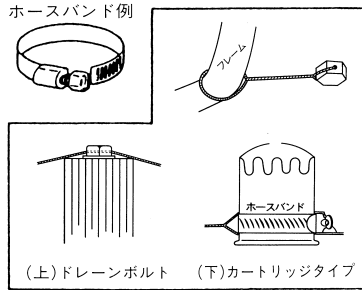


- 5-2-5 オイルブリーザーパイプが装着されている車両には、オイルキャッチタンクを取り付けなければならない。

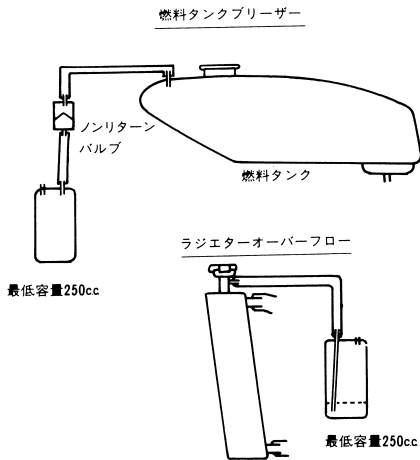
最低の容量：2ストローク：250cc 4ストローク：500cc

- 5-2-6 オイルドレーンボルト及び供給パイプ
エンジンのオイルドレーンボルトは確実に固定され、ドリルで穴を開け、ワイヤーで所定の位置に固定しなければならない。
オイルパンに進入する外部オイルフィルターのスクリューやボルトは安全にワイヤーロックされていないなければならない。

ワイヤーロック



- 5-2-7 燃料タンクブリーザーパイプがついている車両は、ノンリターンバルブを燃料タンクブリーザーパイプに取り付けなくてはならない。これは、適切な材質でできた最低容量250ccのリザーバータンクに放出されるようになっていなくてはならない。



- 5-2-8 燃料タンクフィルターキャップ及びオイルフィルターキャップは閉じた状態で漏れないようになっていなくてはならない。さらに、これらはいかなる場合においても誤って開くことのないように完全にロックされていなくてはならない。

- 5-2-9 ラジエターオーバーフローパイプがついている車両は、最低重量250cc以上のキャッチタンクを取り付けなければならない。

5-3 レースの為に変更、改造、チューニングが許可される部分

5-3-1 フレーム

- 5-3-1-1 追加が認められるパーツの取り付けを目的としたステーの追加。
- 5-3-1-2 リヤサブフレームにボルトオンされたアクセサリーの取り外し。
- 5-3-1-3 ステアリングダンパーの取り付けおよび取り付け目的のためのフレーム加工

5-3-2 リヤフォーク（リヤスイングアーム）

- 5-3-2-1 スタンドブラケットの取り付け、および取り付け目的の加工。
- 5-3-2-2 リヤスプロケットガードの取り付け、および取り付け目的の加工。

5-3-3 サスペンション

- 5-3-3-1 フロントサスペンションのスプリングの変更。
- 5-3-3-2 車高調整を目的としたフロントフォークの上下の取り付け位置の調整。
- 5-3-3-3 リヤサスペンションのスプリングの変更。

5-3-3-4 サスペンションフルードの変更。

5-3-4 ブレーキ

5-3-4-1 前後ブレーキパッドとホースの変更。

5-3-4-2 ブレーキフルードの変更。

5-3-5 タイヤ・ホイール

5-3-5-1 スピードメーター駆動部の取り外しとスパーサーへの交換。

5-3-5-2 タイヤ

5-3-5-2-1 タイヤは変更できるが、一般公道用のタイヤに限られる。レース用のスリックタイヤ／レーシングレインは天候に関わらず使用できない。

5-3-5-2-2 タイヤは入門者クラスとして公平を期すため、排気量クラスごとに銘柄と種類を限定する。当該銘柄で使用できるタイヤは下記に限定される。

年度	クラス	メーカー	パターン
2004～2005年	ST250	ミュラン	Pilot Sport
	ST400	井上ゴム	SP10 SP11 RX01

5-3-5-2-3 タイヤの追加工（再グルーピング等）は禁止される。

5-3-5-2-4 磨耗限度を超えたタイヤは使用できない（残溝はインジケーターによる）。

5-3-5-2-5 タイヤウォーマーの使用は禁止する。

5-3-5-2-6 上位入賞車両は再車検にて詳細検査を行い、登録タイヤと異っていた場合は失格とする。

5-3-5-2-7 原則的には出荷時のタイヤサイズが望ましい。

5-3-6 フットレスト・チェンジレバー・ブレーキペダル

フットレストは改造・変更されてもよいが、下記条件を満たさなければならない。ただし車両公認時から改造・変更しない場合は突起物を取り外し、車検長の許可を得た場合は下記仕様を満たさなくても使用できる。

5-3-6-1 フットレスト／フットコントロールの位置は移動してもよいが、ブラケットは元の取り付け位置に固定しなければならない。

5-3-6-2 フットレストの先端は、最低半径8mmの中空でない一体構造の球状になっていなければならない。

5-3-6-3 折りたたみ式の場合は、自動的に戻るようになっていなければならない。

5-3-6-4 スチール製フットレストで折りたたみ式でない場合、その先端にはプラスチック、テフロンあるいはそれと同等の材質でできた先端（プラグ）が固定されていなくてはならない。（最低半径8mm）

5-3-7 ハンドルバー・レバー類

5-3-7-1 ハンドルバー、ブレーキ／クラッチレバー及びブレーキ／クラッチケーブル／スロットルケーブルの変更。ステアリングパイプ（ハンドルバー）取り付け方式、タイプは車両公認時のものから変更できないが、取り付け位置調整、角度調整は認められる。

5-3-7-2 ハンドルバーの末端が露出している場合は、固形物質を詰めるかゴムでカバーされていなければならない。

5-3-7-3 ハンドルバーの最低幅は85ccまでは400mm、86cc以上は450mm。

5-3-7-4 ブレーキ／クラッチレバーの先端はボール状でなくてはならない（最低直径19mm）。このボールを平たくすることができるが、端部は丸くなっていなければならない（最低の厚み14mm）。

5-3-8 フェアリング

5-3-8-1 フェアリングとウインドスクリーンはアフターマーケットのものに変更することができる。ただし、外観はノーマルと同じでなければならない。

5-3-8-1-1 スクリーンエッジは丸く加工する。

5-3-8-1-2 カーボン、ケブラー等の高価素材のものは使用できない。

5-3-8-2 取り付けブラケットの改造・変更。

5-3-8-3 露出しているエッジは、全て丸められていなければならない。

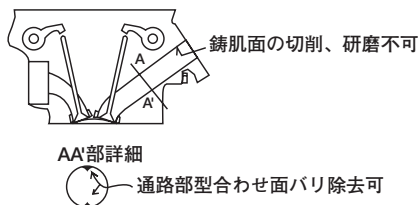
5-3-8-4 大会期間中に破損した場合の補修と取り外し。

5-3-9 シート

オプションのシングルシートまたはアフターマーケットのものに変更できる。ただし、外観はノーマルと同じでなければならない。カーボン/ケブラー等の高価素材のものは使用できない。

5-3-10 シリンダー

5-3-10-1 4ストロークのシリンダーヘッドポートのバリ取りとカーボン除去。バリとは鋳型の合わせ面に生ずる「型合わせバリ」を指す。

型合わせバリ

※ポート内のザラ付きは鋳ハダと解釈し、切削、研磨は認められない。

5-3-10-2 2ストロークのシリンダーヘッドとポートのカーボン除去。

5-3-11 クラッチ

クラッチスプリングの変更。

5-3-12 キャブレター

ジェットとニードルの変更。

5-3-13 燃料供給

5-3-13-1 フューエルラインの変更。

5-3-13-2 フューエルベントラインの変更。

5-3-13-3 フューエルフィルターの追加・変更。

5-3-14 ワイヤハーネス

不要なワイヤハーネスのカット。

5-3-15 スプロケット/チェーン

カウンターシャフトスプロケット、リヤホイールスプロケット、チェーンの変更。ただし、チェーンは公認時のサイズとする。

5-3-16 エンジンレブリミッター/スピードリミッター

エンジンレブリミッター/スピードリミッターの変更。

5-3-17 点火時期/スパークプラグ

スパークプラグ、プラグキャップの変更。ハイテンションコードの変更。

点火時期の調整。

5-3-18 ボルト・ナット類

5-3-18-1 ボルト・ナット類の変更。ただし、同じ材質でなければならない。

- 5-3-18-2 ボルト・ナット類はセーフティーワイヤーをつける為に孔を開けてもよい。しかし、軽量化する改造は認められない。
- 5-3-18-3 カウルのボルト・ナット類はクイックタイプに変更できる。
- 5-3-19 取り外すことができる部品
- 5-3-19-1 計器類と計器用ブラケット及び関連ケーブル。
- 5-3-19-2 ホーン
- 5-3-19-3 ツールボックス
- 5-3-19-4 タコメーター
- 5-3-19-5 スピードメーター
- 5-3-19-6 ラジエターファンと配線
- 5-3-19-7 2ストローク分離給油用のオイルポンプとオイルタンクの取り外しと、取り外し後のカバー類の取り付け。
- 5-3-19-8 リヤフェンダーと結合していない場合のチェーンガード。
- 5-3-19-9 リヤサブフレームにボルトオンされたアクセサリー。
- 5-3-19-10 エアクリーナーエレメント
- 5-3-19-11 別体（ボルトオン）のライセンスプレート
- 5-3-19-12 スターターキックアーム
- 5-3-19-13 サーモスタットの取り外し又はスパーサーへの交換
- 5-3-20 ノーマルマフラーに対する曲げによる接地対策は許可される（切り取り、追加は許可されない）。また、取り付けのためのブラケットの変更も許可される。
- 5-3-21 サイレンサーのグラスウールの変換は認められる。グラスウール交換の為のサイレンサー外筒の改造は認められる。
- 5-4 その他の制限
 - チタン合金部品の使用は禁止される。

6 買い取り制度

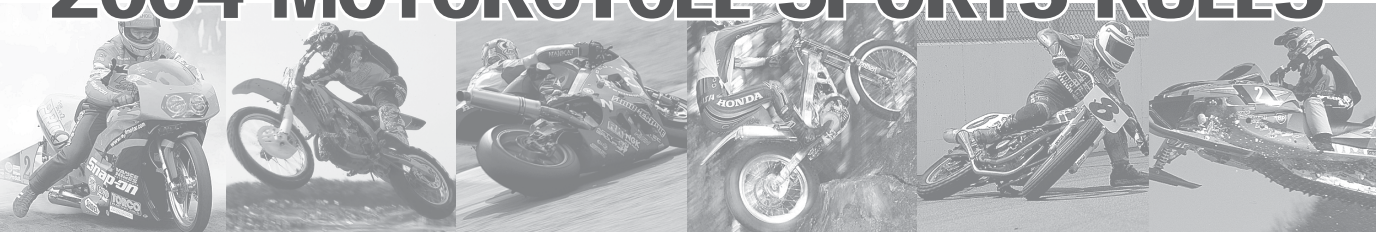
1 大会にて6位以内に入賞した車両は、購入希望者がいた場合下記価格にて販売しなければならない。売買によって発生する税金は、この金額に含まれない。

250ccクラス 1,000,000円 400ccクラス 1,000,000円

- 6-1 購入希望者は6位以内に入賞した車両が車両保管されている時間内に限り、購入申請することができる。
- 6-2 購入申請は主催者指定の用紙に必要事項を記入し主催者に提出すること。
- 6-3 購入希望者が複数の場合、主催者により抽選が行われ、決定される。
- 6-4 購入者が決定した時点で、購入者は購入申請日に以下のものをそろえて主催者へ提出しなければならない。
 - ・購入申請用紙 ・購入者の運転免許証のコピー
 - ・購入申請保証金50,000円（購入申請保証金は購入代金の一部とされる）。
- 6-5 購入者が決定した時点より、主催者は車両を売買契約日まで保管しなければならない。
- 6-6 売買契約日は、購入申請日から起算して10日以内の間に設定されなければならない。売主・購入者、そして主催者3者合意のもと、売買契約日を決定する。
- 6-7 上記6-6にて決定された売買契約日に購入代金（現金）と、車両の受け渡しが行われる。
- 6-8 売買契約日に売主・購入者双方とも、身分証明のコピーを主催者に提出しなければならない。

- 6-9 売買契約は売主・購入者双方と主催者の立ち会いのもと行われる。
- 6-10 上記6-6にて決定された売買契約日に購入者が購入代金を支払うことができない場合は、この売買契約は無効となり購入申請保証金50,000円は返却されない。また、この場合に発生する経費（運搬費等）は購入希望者が負担する。
- 6-11 主催者が購入申請を行うことができる。
- 6-12 売買された車両が、売主のエントラントから出場登録された場合、主催者はこれを拒否する事ができる。

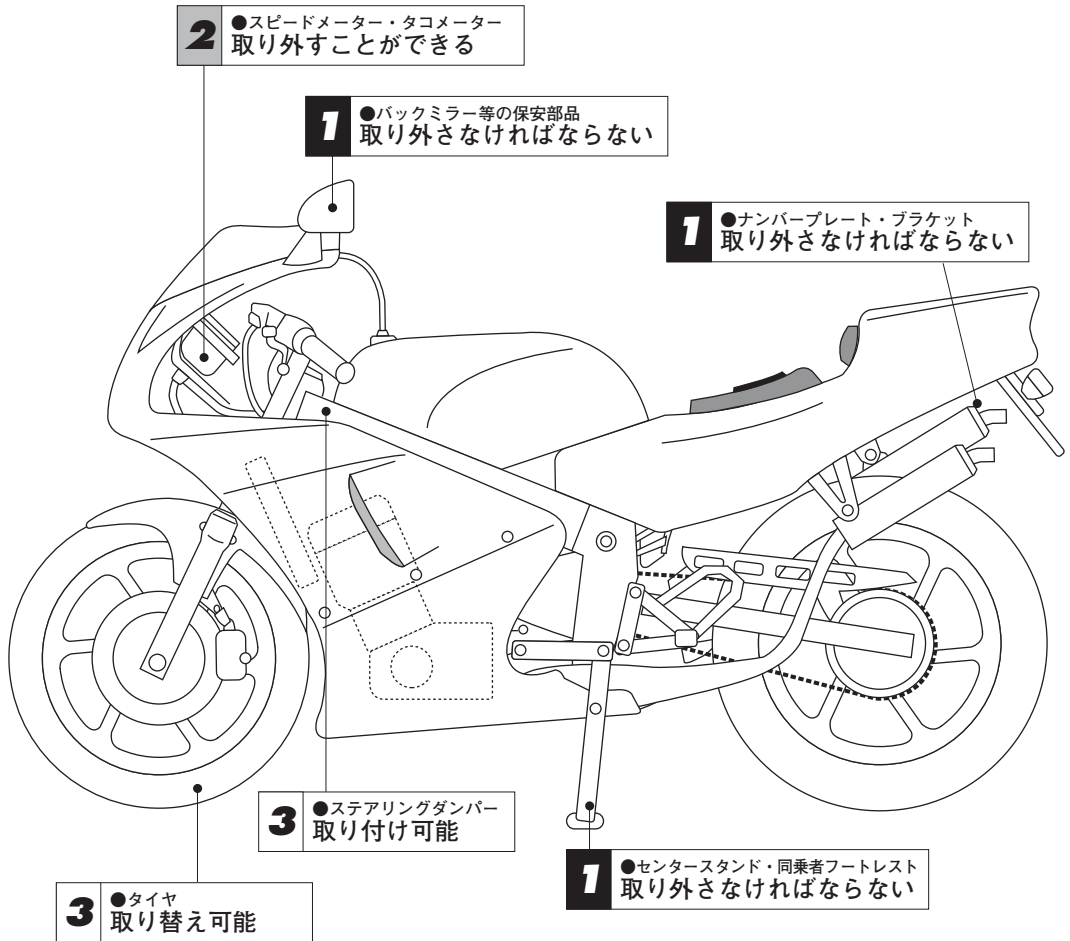
2004 MOTORCYCLE SPORTS RULES



よくある質問と答え：

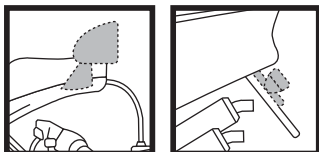
- ① ステアリングダンパーの取り付けは認められますか。
A：認められます。ステアリングダンパー取り付け目的の加工も認められます。
- ② インテークマニホールドに取り付けられたインテークチャンバーの取り外しは可能ですか。
A：取り外しできません。
- ③ ステアリングパイプ（ハンドルバー）の角度変更は認められますか。
A：取り付け方式、タイプは公認時から変更できません（左記に変更のない範囲で取り付け位置、角度調整は可能）。
- ④ エアクリーナーエレメントの取り外しは認められますか。
A：認められます。
- ⑥ ACGローターの軽量化は行ってよいですか。
A：認められません。
- ⑦ ACGステータコイルの取り外しは認められますか。
A：認められません。
- ⑧ リミッターカットに伴うメインハーネスの交換は認められますか。
A：リミッターカットを目的としたメインハーネス、イグナイターハーネス、CDIユニット、カードの交換は認められます。
- ⑩ リヤフェンダーの取り外し、カットは認められますか。
A：別体（ボルトオン）のライセンスプレートのみ取り外しできます。
- ⑪ 水温計取り付けのためにラジエターに加工してもよいですか。
A：ラジエターへの加工は認められません。
- ⑫ ラジエターホースを変更してもよいですか。
A：スタンダード品に限り認められます。
- ⑬ 指定タイヤのなかで、サイズ変更は認められますか。
A：原則的には、出荷時のサイズが望ましいです。
- ⑭ オートシフターの取り付けは認められますか。
A：認められません。
- ⑮ キックアームの取り外し、およびスターターギヤの取り外しは認められますか。
A：キックアームの取り外しは認められますが、ギヤの取り外しは認められません。
- ⑯ マフラスターの取り外し、変更は認められますか。
A：ステーの取り外し、変更ともに認められます。
- ⑰ ウィンドスクリーンの変更は認められますか。
A：同一形状であれば認められます。

マシンにはほとんど手を加えず、気軽に低コストで参加できるクラスとして、1998シーズンから新設されたのがストックバイククラス。新設当初から全国各サーキットで開催され、好評を得ているこのクラスだが、改造範囲が狭いだけにマシン作りもそれまでと勝手が違うようだ。ここでは、ストックバイクの仕様についてわかりやすい説明を行なうと同時に詳細規定、判例も収録した。ストックバイクの仕様についてのポイントは、ここに「書いてないことはしないこと」だ。ストックバイクで手軽にレースを楽しんではいかが？

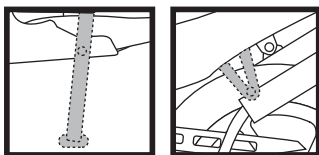


オイルドレンボルトは必ずワイヤーロックすること!!
ブレーキパッドピンの締めつけは確実にすること

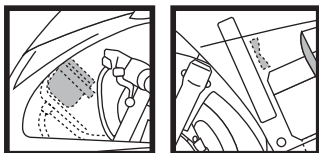
1 取り外さなければならぬ部品



- ・ライト／ウィンカー／リフレクター
- ・バックミラー
- ・ナンバープレートとブラケット
※但し、ナンバープレートとブラケットが一体型のものは、ブラケットを取り外すことができない。
- ・セーフティバー／センタースタンド／サイドスタンド
- ・同乗者用フットレスト／グラブレール
- ・その他車検時に安全上取り外しを指示された部品

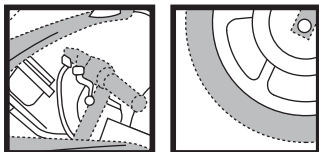


2 取り外すことができる部品



- ・計器類と計器用ブラケットおよび関連ケーブル
- ・ホーン
- ・タコメーター
- ・スピードメーター
- ・ラジエターファンと配線
- ・2サイクル分離給油用のオイルポンプとオイルタンクの取り外しと、取り外し後のカバー類の取り付け

3 取付・取替等で特に気を付ける項目



- ・ステアリングダンパーの取り付けは、取り付けるための加工を含めて可能。
- ・タイヤは一般公道用の銘柄指定タイヤのみ使用可能で、レーシングスリック、レーシングレインタイヤは天候に関わらず使用不可。違反した場合は失格となる。
- ・タイヤは2002～2003年までで銘柄指定タイヤが変更されるので要注意。
- ・スクリーン、カウリング、シートカウルは安価なアフターマーケットのものに交換できるが、外観が同じものに限られる。
- ・フロントサスペンションおよびリアサスペンションのスプリング変更、車高調整を目的としたフロントフォークの上下取り付け位置の調整、サスペンションフルードの変更は可能。サスペンションについて、これら以外は一切改造も変更もできない。

